

整理番号 S-120

出 展 織物欠点解析事例集(第 3 集)

欠 点 名 たて筋(張力斑)

品 名 資材織物(カバン地)

試料形態 織物

組 織 平(たて 52 本/インチ、よこ 32 本/インチ)

糸 使 い

たて糸:ナイロン 420d/48f 無撚糸

よこ糸:ナイロン 420d/48f 無撚糸

欠点発生状況

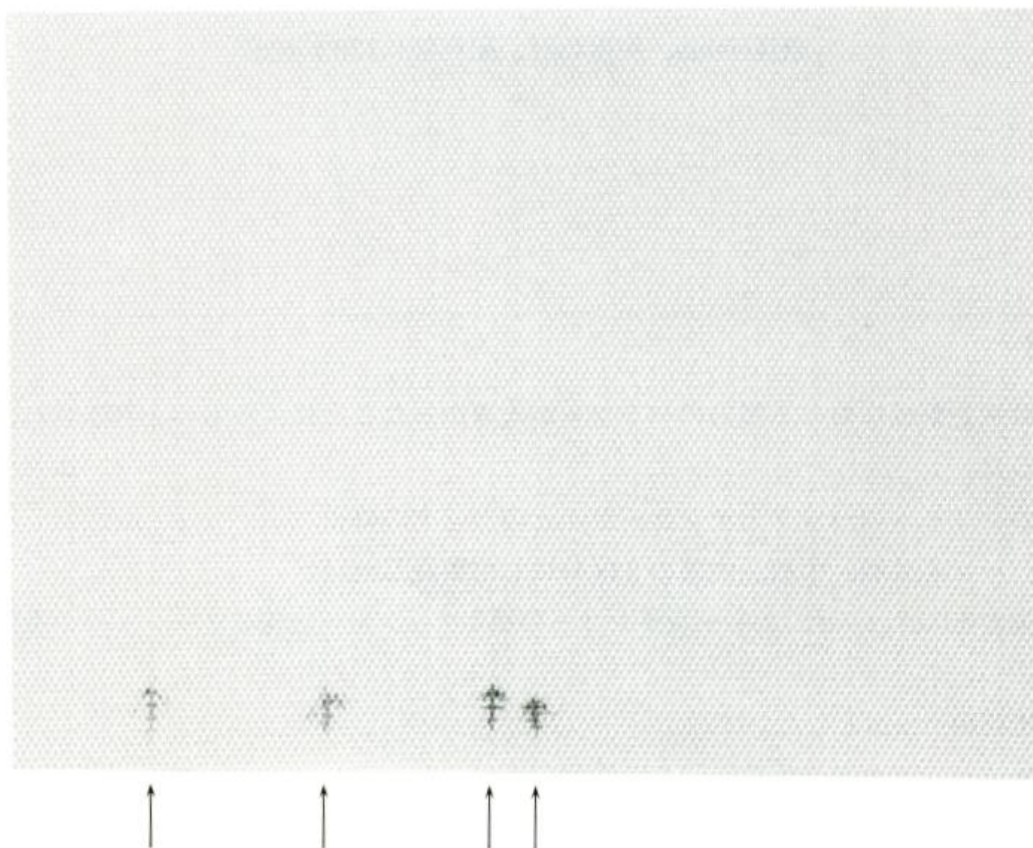
たて筋は全幅にわたって発現しており、特定の周期はない。生機で軽微なたて筋が見えたが、片面捺染の加工上がりでたて筋が目立って発現した。

工 程

たて:原糸—荒巻—サイジング—巻返し—引込—レピア織機

よこ:原糸—————|

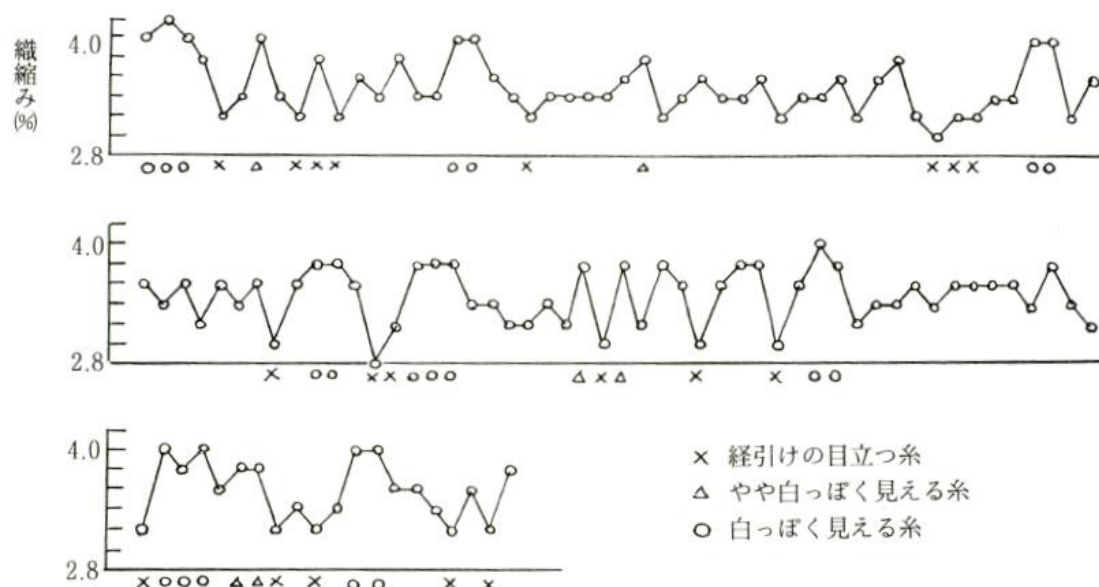
試料写真



試験結果

(1)織度測定、(2)織縮み率測定

- ・生機の正常部の糸よりたて筋部の糸が 0.7d 細い。また、織縮み率では、バラツキが大きく、最大と最小値に 1.4%の差があった。



[原長 500mm、荷重 45gf、配列順に 120 本測定]

所 見

本欠点は荒巻整経における張力のバラツキが大きかったことによるものと判断され、下記の対策で解消した。

(1)荒巻のクリームのペックとテンサーアイとのセンタの修正、(2)原糸パーンを外層、中層、内層の 3 区分にして整経した。(3)荒巻張力を 0.07gf/d、クリールテンサーの第 1 ワッシャーと第 2 ワッシャーの重量比を 4:6 にした。(4)糸速を 18m/min とした。(5)荒巻サイジングまでの放縮時間を 72 時間以上にした。